
各地よりのたより

又、日食遠征に對する聲援

肅啓、春暖快適の折柄、益々御清榮の段大慶の至りに存じます。

偕而、今般本協會の南米日蝕觀測遠征計畫に深く賛同の意を表し、心から聲援を御送り致すものであります。此の計畫は、吾々東亞天文協會の國際的事業であります故に、全會員の意志が結合せられましたる精神を以て、打つて一丸と爲し、準備、實行及び完成の三者に對する成功を期せらるべきものであると信じます。

遅れ馳せ乍ら、同封の爲替、極めて少額ではありますが、御計畫の塵埃とも相成りますれば幸甚至極に存じます。願はくば本事業の上に輝やかしき成功あらんことを。

右不取敢御挨拶まで申し上げます。

敬 白

四 月 五 日

豊島區池袋八ノ二四〇一

會員 阿 部 正 明 拜

會 長 山 本 一 清 様 御座有

紀 伊 支 部 通 信

1) 三月例会

三月例会は去る三月3日(土曜)19時より和歌山陸軍病院赤十字病院醫員控室に於いて野村司會の下に開催、参加者は島田晋村、田阪晃、野村秋馬(以上協會)、池本義弘(高商)、阪本重治、笠野卓夫、木村直樹、門洋二、橘文之助(以上星の會)の九名にて、高城武夫氏が「太陽機關車」と題する太陽熱應用に關する外國文献の抄讀あり、後、氏を中心として漫談に花を咲かせ、24時に至つて散會した。終りに近い頃、常用の五藤 58mm、中村 9cm 反射にて觀望、實に和氣に満ちた會であつた。

2) 三月講演會

三月16日(日曜)18時より海南市内海小學校に於いて橘文之助氏(星の會會員、同校職員)司會の下に講演會及觀望會開催、高等科及青年學校生徒約150名に「星について」と天文學全般に亘つて廣い説明を、島田晋村氏は約1時間に亘りて熱演す(20分—21時)。この前後に於いて島田、野村、橘3氏指導の下に星圖、遊星、同等の諸天體を觀望せしめた。一同非常に満足し、22時散會、後木下同校々長以下職員8名、島田、野村を加へ1時間坐談會を開催した。

3) 協會紀伊支部の現況

現在、縣下の本會々員は小槇支部長以下10名であります、毎月の例會には地理的の關係から小槇、阪田、山本、島田、野村以外の方々は出席されて居りません。殆ど星の會會員及高商同好會の方々のみであります。念のため縣下の天文團體を略述します。

(A) 東亞天文協會紀伊支部

支部長 小槇孝二郎氏（有田郡金屋） 會員10名

(B) 和歌山星の會

委員 山本靜雄君、阪田晃氏、島田晉樹氏及小生（事務所は小生方）
會員20名

(C) 高商天文同好會（和歌山高商内）

代表者 山本靜雄君、新谷雅信君、會員約20名

以上の三團體が聯結して非常に面白し毎月例會を開催して居ります故、本協會員の御參加を希望します。（和陸赤院にて 野村記）

逝ける淺野英之助氏

山口縣に於て、早くより黃道光の觀測に専心し、多くの觀測記録を残された。



編輯室より 來年のドイツ曆が早く到着したので、いち早く本誌に1941年度の略曆表を掲げます。一般人に先んじて、本會の會員たちは、來年の天象の模様を知り、社會を指導して貰いたいからである。前々號といひ、本號といひ、竹内博士が日食觀測に關する物理學者らしい立場からの暗示を寄せられるのは有難い。將來の日食觀測プログラムの中には、ます々々天文と物理との協力によるものが増すことと豫期される。S. I. 氏の日本古曆の研究文も亦、益々佳境に入る觀がある。誰か、支那やインドの曆についても、大に研究して頂きたい。